別添３

ロジックモデルは、事業を実施したことにより生じた結果（アウトプット）が、成果（アウトカム）に対してどれだけの影響（インパクト）をもたらしたかという関連性を図式化したものである。都道府県計画及び市町村計画においては、当該計画の目標を成果（アウトカム）としてロジックモデルを作成・活用することで、現状を把握して評価を行い、目指すべき方向を踏まえて、課題を抽出し、課題の解決に向けた事業の明示及び数値目標の設定、それらの進捗状況の評価等を実施することが考えられる。

（ロジックモデルの構成要素の例示）



※　なお、ロジックモデル等のツールの活用については、医療計画の作成について、「医療計画について」（令和５年３月31日付け医政発0331第16号厚生労働省医政局長通知）、「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について」（令和５年３月31日付け医政地発0331第14号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知）及び「第４期医療費適正化計画の作成及びＰＤＣＡ管理等について」（令和５年７月27日付け保連発0727第１号厚生労働省保険局医療介護連携政策課長通知）において通知しているところであり、当該通知も参考とされたい。